

北里研究所病院と阿南医療センターが提携しました。

阿南医療センター 院長 前田 徹

この度、阿南市が約10年に渡り交流を深めている東京都港区にある北里研究所病院と阿南医療センターが連携させて頂くこととなりました。去る2025年7月6日に、二木博文厚生労働省副大臣と岩佐義弘阿南市長にご臨席を賜った場で北里研究所病院の金子博徳院長と当院院長前田の間で提携書を交わすことができました。

北里研究所病院は明治26年に北里柴三郎博士により東京都港区白金に開設された、非常に伝統のある病院で、学校法人北里研究所により北里大学病院、北里大学メディカルセンターとともに運営されています。病床数329床のハイソな都会の急性期病院で災害拠点病院にも指定されています。今後阿南医療センターは北里研究所病院と職員同志の交流等を通じて両者の医療レベルの更なる向上を目指して提携していく所存です。

提携書を交わした同日には北里研究所病院の金子院長に阿南市コスモホールにてご講演を賜りました。「健康寿命を伸ばすために～ロコモに負けない身体作りを～」という演題で、多くの市民の方々に健康寿命に関する有益な内容の講演をして頂きました。来場者は約430名で、盛況裡に終わることができました。

また同日午前には阿南市のプロサーファーであられる武知実波さんの日本サーフィン連盟副理事長就任を記念しての辰巳海岸でのビーチクリーンがありましたが、この催しにも北里研究所病院の金子院長をお誘いし参加して頂きました。東京の第一線で活躍されている急性期病院の院長に阿南市の活動を知って頂くことができ、また地方の自然環境を満喫して頂きました。

阿南市と東京都港区の交流、連携に両地区の医療機関同士の連携が加わり、首都東京と地方の阿南市が更なる提携を継続していくことに大きな意義があると考えています。

(2025年8月7日)

